

令和6年度 道徳教育の全体計画

大竹市立玖波中学校

学校教育目標

「なりたい自分」に向かって挑戦する生徒の育成

道徳教育の重点目標

自分は周りから認められているという自覚をもち、自分の考えに基づいて自信をもって行動できる生徒の育成

重点目標

- (向上心・個性の伸長)
- 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。(希望と勇気・克己と強い意志)
 - より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやりとげること。(思いやり・感謝)
 - 思いやりの心をもって人と関わるとともに、家族や多くの人々の支えによって日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。
- 《1学年》お互いの個性を尊重しつつ、より多くの関わりをもち、自分に自信をもち自分の良さを伸ばす。
- 《2学年》お互いの個性を尊重しつつ、自分に自信をもち互いに助け合いながら、自分や友だちの良さを伸ばす。
- 《3学年》他人に対する優しく思いやる心を更に育み、より高い目標に対し、ねばり強くやり抜く強さを身に付け、夢の実現に向けて切磋琢磨する力をつける。

道徳の時間の指導の方針

各教科等における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充・深化・統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成する。

★年間指導計画を作成する際の観点
年間授業時数の確保、主題の設定と配列、計画的、発展的指導、内容の重点的指導、わたしたちの道徳、各教科等、体験活動との関連的指導等を踏まえて作成する。

★「ドリームプロジェクト」(全校道徳)にかかわる内容の指導の工夫

「ドリームプロジェクト」にかかわる内容項目については、卒業生や地域からのゲストティーチャー等、夢の実現に向けて挑戦した先輩の姿から生き様を学ぶ機会を設け、生徒が将来「なりたい自分」に挑戦しようとする態度を育てる。

★「人権発表」による指導の工夫
各学年で、学期に1回、人権にかかわるテーマを決め、授業で深めた内容を朝会で発表する機会を設け、人権意識を高めようとする態度を育てる。

道徳教育の推進体制

★校長の方針
学校教育目標である「なりたい自分」に向かって挑戦する生徒の育成には、夢を実現するために、いろいろなことに挑戦しようという意味が込められている。社会の一員としての自覚を持たせ、主体的に生きるための基本となる資質や能力である豊かな道徳性の涵養を図る。

★協力体制の充実
道徳教育推進教師を中心に、学年全体で協力し、全教職員で目指す生徒像などの協議を深め、指導にあたるよう推進する。

★道徳教育推進教師の役割

- 道徳教育の指導計画の作成に関すること
- 全教育活動における道徳教育の推進・充実に関すること
- 道徳の時間の充実と指導体制に関すること
- 道徳用教材の整備・充実・活用に関すること
- 道徳教育の情報提供や情報交換に関すること
- 授業の公開など家庭や地域社会との連携に関すること
- 道徳教育の研修の充実に関すること
- 道徳教育における評価に関すること

※別業に示す。

日本国憲法、教育基本法、学校教育法、教育関係法規、学習指導要領、広島県の重点施策、大竹市の重点施策

時代や社会の要請や課題

- 子どもたちに、他者、社会、自然、環境とのかかわりの中で、これらと共に生きる自分への自信をもたせること
- 子どもたちの基本的な生活習慣の確立と最低限の規範意識の醸成

総合的な学習の時間における道徳教育の指導の方針

- 問題解決や体験活動を通して、自己の生き方を考えることができるようにする。
- 主体的に学ぼうとする態度や、粘り強く考え解決しようとしたり、自己の目標を実現しようとしたり、また、他者と協調して生活しようとしたりする態度を育てる。

道徳の時間との関連

- 道徳の時間における道徳的価値の自覚を深めたり、道徳的価値の自覚を図ったりする。

※指導の内容及び時期を別業に示す。

特別活動における道徳教育の指導の方針

学級活動

- 望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする態度に関わる道徳性を養う。
- 基本的な生活習慣の確立、環境に適応するための社会性や規範意識、よりよく生きようとする意欲や向上心を養う態度に関わる道徳性を養う。

生徒会活動

- 生徒会執行部を中心とした活動を通して、望ましい人間関係の形成や集団の一員としてよりよい学校づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする態度にかかわる道徳性を養う。

学校行事

- 望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする態度にかかわる道徳性を養う。

道徳の時間との関連

- 道徳的実践力と道徳的実践の有機的な関連を図る指導を行う。

※指導の内容及び時期を別業に示す。

特色ある教育活動や豊かな体験活動における道徳教育の指導の方針

緑化作業や地域行事への参加など、地域での活動を通して、道徳性の育成を図る。

生徒の実態

3年：穏やかで、何事にも真面目に取り組むことができるが主体性に欠けることがある。

2年：明るく素直で、個性を認め合うことができるが、発表する生徒が固定化する傾向がある。

家庭・地域の実態

教育への関心が高く、学校教育に協力的である。

教職員・保護者の願い

互いの個性を認め合い、思いやりや感謝の気持ち、関わり合いを大切にして欲しい。

各教科における道徳教育の指導の方針

国語科

- 思考力・表現力を養い、言語感覚を豊かにすることを通して、道徳的心情や道徳的伸張力を養う。

社会科

- 国土と歴史に対する理解と愛情を深めることを通して、伝統と文化を尊重し国や郷土を愛する道徳的心情や態度を養う。
- 公的の資質の基礎を養うことを通して、集団や社会とのかかわりにおける道徳的態度を養う。

数学科

- 事象を数理的に考察し筋道を立てて考え、論理的に表現する能力を高めることを通して道徳的伸張力を養う。
- 数学的活動を協働協力して行うことを通して、相互に尊重し合い、支えあおうとする心情・態度を養う。

理科

- 自然の事物・現象を調べる活動を通して、自然と人間とのかかわりを認識させ、生命尊重や環境保全に寄与する道徳的心情や態度を養う。
- 観察・実験を通して、科学的に探求させ、科学的な見方や考え方を養い、真理を大切にしようとする道徳的伸張力を養う。

音楽科

- 我が国の自然や四季の美しさを感じ取り、日本文化や日本語の持つ美しさを味わえる教材を通して、美しいものや崇高なものを尊重しようとする道徳的心情を養う。

美術科

- 美術の創造活動の喜びを味わうことを通して、美しいものや崇高なものを尊重しようとする道徳的心情を養う。

保健体育科

- 様々な運動を通して、粘り強くやり遂げる、ルールを守る、集団に参加し協力するといった道徳的実践意欲・態度を養う。

技術・家庭科

- 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得することで、望ましい生活習慣を身につけ、勤労の尊さや意義を理解しようとする道徳的実践意欲を養う。
- 進んで生活を工夫し創造しようとすることを通して、家族愛を深め、家庭や地域社会の一員としての自覚を持ち、自分の生き方を考え生活をよりよくしようとする道徳的実践意欲や態度を養う。

英語科

- 外国語を通して我が国の言語や文化に対する理解を深めることで、世界の中の日本人としての自覚を持ち、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする道徳的実践意欲や態度を養う。

家庭、地域との連携

共通理解を深め、道徳的実践の深化・拡充を図る。(授業参観・玖波中だより・PTA新聞・HP・地域からのゲストティーチャー・奉仕活動・学校や地域の行事・公民館行事・家庭訪問・地域教材等)

学級経営

人間尊重の基盤にたった、自主的・自治的な学級集団づくりを行う。